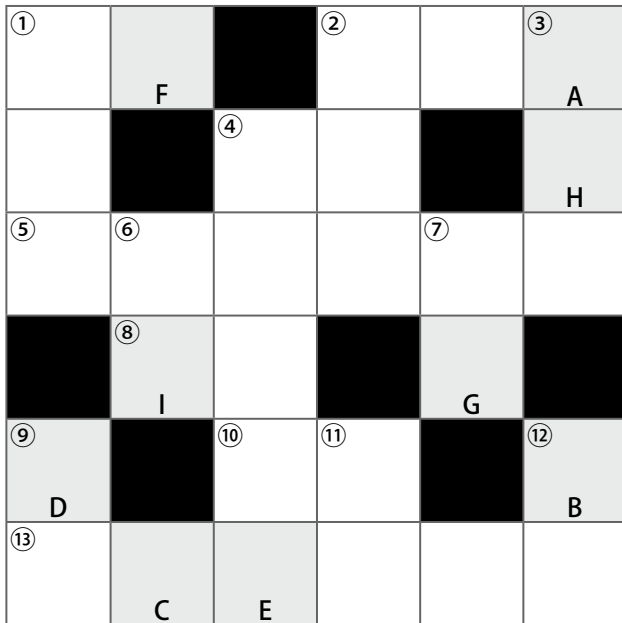




お年玉プレゼント！

クロスワードクイズ



答え

A	B	C	D	C	E	C	F	G	C	H	I
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

明けましておめでとうございます

脱皮することから、へびは再生のシンボルとされています。「巳」とかけて実のなる年にしたいですね。

毎年好評の新春クイズはクロスワードです。ぜひ挑戦してみてください。応募方法は、8ページに掲載しています。



正解者の中から5名に
消費材福袋をプレゼント！



↓ タテのカギ

- ① 朝の太陽の光
- ② 組合員の集まりのひとつ。略して〇〇〇
- ③ シイタケ、舞茸、えのき茸などの総称
- ④ 料理にとろみをつけるときに使う粉
- ⑥ 神様のいる聖域とその他を区別するために 張るもの。
しめ〇〇
- ⑦ 5～7月にかけて雨の日が多い期間
- ⑨ 台所や作業場などに使う、外から土足のまま
出入りできるところ
- ⑪ ガリバー旅行記に登場する空飛ぶ島。〇〇ユタ
- ⑫ 自由に使える時間。〇〇を楽しむ



→ ヨコのカギ

- ① 魚を刺身で食べるときは注意！〇〇サキス
- ② 英語で「air」^{エア}
- ④ 何も持たないこと。〇〇つぽ
- ⑤ 粉石けんの消費材名称。陽だまりの温かさを楽しむ
- ⑧ 生活クラブのおまつり「〇〇わくまつり」
- ⑩ ライラックのフランス名
- ⑬ 北海道に核のゴミはいらないという想いを込めて
「〇〇〇〇〇〇宣言」。アイヌ語できれいな空気の意味



INDEX

新春に寄せて
私たちが食の未来を守る 3

豚プロジェクト
私たちが伝えました 生活クラブの豚肉って、すごいんです！ 4～5

ライフプラン講座
豊かなくらしのために 6

2024 年度 生活クラブ福祉基金助成先団体紹介
フリースクール「自由学習空間 ひとのわの会」/ 一般社団法人 WHO CARES 7

生活クラブ Wind



組織活動

今年度も残すところ3カ月です。多くの支部では、新しく加入した組合員を対象に新規加入者歓迎会をおこなっています。歓迎会は早期脱退を防ぐ加入者フォローとして、消費材の情報やRびん回収などの活動、共同購入の意義を伝えることを目的としています。

各支部とも2025年度議案書の作成に取り掛かり、活動の振り返りと来年度の活動方針を話し合っています。支部組合員の意思決定の場である支部大会は3月に行われます。ぜひ都合をつけて出席しましょう。



消費委員会

今年度は「直接会つ」活動が増え、産地に向いたり生産者と交流するなかで、消費材の持つ意味や価値を理解し、利用結集につながる活動ができました。賛同する仲間を増やし消費材を食べ続けることは、生産者が作り続けられることにつながり、自給率の向上など世の中を変えていく大きな力にもなります。

農産物に入るメッセージカードを活用したことがあります。「組合員の声がとても励みになる」と生産者の皆さんは言います。ぜひ感謝の気持ちを伝えて絆を強めましょう！まずは一人ひとりができることから。



福祉・たすけあい

「荷受け時に瓶を落とした」「活動中、スマホを壊した」「美容室に行く間、子どもを預けた」「体調が悪く家事ができない」など、共同購入や組合員活動、暮らしの中の困りごとを組合員同士がたすけあって解決するしくみが、エッコロです。

今年度は利用の枠が広がり、①託児の対象を小学生まで②学校行事も対象③ペットのお世話も保障④歯科治療も対象、となりました。エッコロ加入者はホームページにあるガイドを読んで利用してください。未加入の組合員は、エッコロに加入してたすけあいの輪を大きくしていきましょう。



文化委員会

昨年は、国内外で被爆体験を発信し続けた被団協（原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞しました。

原爆投下日に現地に立ち、被ばく証言やフィールドワークを通して戦争の被害と加害を学ぶヒロシマ・ナガサキ平和行動。年明けとともに、何をどう学ぶか具体的な話し合いを始めます。組合員のカンパで組合員と中高生を送り出すことを大切に、一人ひとりが平和を考え作る人になる大きな力になってきました。今年は戦後80年、ヒロシマを訪れます。カンパで送り出す人、出される人、皆さんの参加をお待ちしています。

12月の理事会から

● 2025年度総代会に向け、総代定数と総代選挙の日程について確認しました。

● わくわくまつりの振り返りを行い、次年度は11月2日（日）グランドメルキュール札幌大通公園で開催することを決定しました。

● 2025年度の支部大会における開催および議決方法について討議し決定しました。

● 岩見沢支部のまちづくり拠点「生活クラブまんまる」の運営状況報告書が提出され、運用を開始して1年半の拠点運営・管理状況および活動状況について確認しました。

● 2025年度エッコロ制度改定に向けて、エッコロコーディネーター制度を全保障に広げる提案がされました。

私たちが食の未来を守る



かたぎり ようこ
2024年から理事長を務める。中央支部組合員

生活クラブ北海道 理事長 片桐 葉子

明けましておめでとうございます、今年も皆さまが健やかに過ごしてくださいませう、お祈り申し上げます。

昨年は能登半島地震や庄内・遊佐豪雨等の天災、米騒動、物価高騰が止まらないなど、普通に生活することが今後難しくなりそうな不安を感じる年ではなかったでしょうか。気候変動は「気候危機」と言われる段階に入り、農業における厳しさも増えています。肥料などの高騰や後継者不足などが追い打ちをかけ、農家はこの5年で半減するとも言われています。

今、スーパーやコンビニには当たり前のように商品が並んでいて、そのとき買いたいものを買うことができます。でも、今後そのような暮らしが続く保証はありません。「買

い負ける」という言葉が時折聞かれるなか、政府は自給率を上げるのではなく輸入ありきの政策を推し進めています。世界の気候危機や情勢不安は日本の市場にも直接響きます。その上で買わないものは廃棄され、ロス率はコストとなつて価格に影響し、生産者も消費者も苦しい仕組みになっています。

生活クラブは生産者と消費者が支えあつて皆が幸せになれるよう、予約共同購入というしくみを作りました。「これだけ食べます」と予約された分だけを生産者が作り届けることで無駄がなくなり、長期保存のための添加物も使用せずに生産できます。計画的な生産やリユースびんの使用で環境に優しく、質の高い原料を使用しつともコストを抑えることができます。しかし、このしくみも私たちの「買う力」なしには成り立ちません。生産者

とつながり、食べ支えていくことが、安定した食を守る第一歩です。地域の伝統的な生産活動は文化そのものであり、酪農や農業はすべてがつながり循環しています。一度崩壊してしまうと、その土地全体に計り知れない影響を及ぼすだけではなく、元に戻すことは容易ではありません。また、ネットに溢れる情報に流されて昔から食べているものでも悪いと聞けば買うのをやめ、不足と聞けば買いだめに走るなどして、消費者の動向も生産者を苦しめることになりかねません。失ってから後悔しても遅いのです。

助け合いは一方通行では成り立ちません。できることから、一緒に活動してみませんか。消費材を買い続けることも大切な活動です。生活クラブというしくみを皆で守り、私たちの未来の食を支えていきましょう。

豚肉って、すごいです!

一頭買いをしています。飼育・加工・包装・流通まで一貫した生産元に届けられます。この豚肉の良さを組合員に知ってもらい、利用～11月にわたる活動の様子をお伝えします。〈本部消費委員会〉

11月

豚肉解体講習会(豚解)

平田牧場の職員がモモやロースなどを手作業で切り分ける枝肉解体の様子を見学(右写真)。その後、豚プロメンバーがチームごとに活動報告しました。



骨や脂肪を外す音まで聞こえました。職員の手さばきに感動!

参加した組合員に
豚肉の利用を呼びかけました!

STORY

平田牧場三元豚の
おいしさの秘密を伝えるため、
『STORY』を発行します

レシピ

レシピ冊子「生活クラブの豚肉」を紹介。
お肉の良さがわかるシンプリなものばかり

試食で好評だった
レシピを掲載♪



解体したお肉を参加者みんなで試食♪
生産者から直接話を聞きました

普段からメンバーの雰囲気が良かったので、イベントも成功しました

イベント

プロジェクトで学んだ
豚肉の価値を伝えました

プロジェクト を終えて

本当に安心安全なおいしい豚肉で、
けって高くないとわかった

本当に楽しい8ヵ月間でした。
試食も美味しかった♪

平田牧場のお肉はブランド豚! それを
毎回適正価格で買える生活クラブって
すごい!! を伝えられて良かったです

生産者と組合員、本部職員と一緒に、
今後のことを考えていく場がある...
とても大切なことだと思いました

加入した理由のひとつが豚肉。
いろいろ学べて良かった

エサや育て方、飼育環境などを聞き、市販の三元豚とは
まったく違うことがわかった

生産者と関わる機会があることは、
生活クラブならではの!と感じました

他支部の組合員と交流できて楽しかった。
特に、各チームに分かれてから、メンバー
とより深い話ができるようになった

2024

豚プロジェクト

私たちが伝えました

生活クラブの豚

生活クラブは(株)平田牧場と提携して、「豚一頭を食べきる」という管理を行っているので、一度も冷凍されない新鮮な豚肉が私たちのをすすめるために、組合員によるプロジェクトを結成しました。4月

4月 活動開始！

メンバーは、2月の募集お便りをみて参加した生活クラブの豚肉に興味・関心がある19人。今後の活動として、毎月1回定例で集まり、学習会や試食を行うことにしました。

6月 ミートセンター見学



スライスやパック詰め工程を見学

古平直営農場などで大切に育てられた豚は、畜産公社(屠場)で一次処理され、(株)平田牧場 札幌事業所(ミートセンター)へ運ばれます

8月 会議に生産者が参加



中央左から平田牧場の藤野さん、黒坂さんと一緒に

9月 チームごとに活動

わくわくまつりの準備や、8月におこなった組合員へのアンケート結果について話し合いました。

5月 会議の様子



豚肉の利用を高めるためのアイデアを出し合いました

7月 チーム分け



3つのチームに分かれ、具体的な目標を設定

- イベント → わくわくまつり・豚解
- レシピ → 「生活クラブの豚肉」発行
- STORY → 単協版オピニオン発行

10月 わくわくまつり



ステージ(上写真)では利用を呼びかけ、販売ブースのお肉は売完、豚さんクイズコーナーは大好評でした

手作りペーパーサートで
三元豚の良さを伝えました

元気な時に考えておきたいお葬式 ～いざという時にあわてないために！

人生最後のイベント「お葬式」について考える講座を開催しました。講師の藤井さんの軽やかな語り口調で最近の葬儀事情、費用、お墓のことなどを聞くことができ、会場はすっかり明るい雰囲気になりました。特に参考になったのは、お葬式の流れと打ち合わせのポイントです。



17人が参加〈11/15 生活クラブ本部会議室〉



参加者は、すでに親を見送った人、自分のエンディングノートを書くために来ていた人、夫婦で参加した人など様々でした。「元気なうちに家族で話し合っておこうと思いました。こういう葬式にしてほしいと伝えておく事が大切」という感想を聞いて、これこそがいざというとき慌てないために必要だと感じました。たくさんある葬儀社のパンフレットやコマーシャルを見て悩んでいましたが、「親が亡くなった際に生活クラブへすぐに相談して納得のいく葬儀ができた」という事例を聞き、安心してこれからのプランが立てられそうです。

(運営委員 小野 恵子)

ライフプラン講座

豊かなくらしのために

生活クラブでは、安心して豊かな人生を送るために役立つ保障や制度をわかりやすく学ぶ「ライフプラン講座」を開催しています。今回は、(N) Wco. FPの会所属でファイナンシャルプランナーの藤井智子さんを講師に支部で開催した様子をお伝えします。

いしかり

iDeCo と NISA



久しぶりに支部主催で、ライフプラン講座を開催しました。この講座を選んだのは、運営委員から「NISAのことをぜひ聞きたい！」との声があったからです。iDeCo と NISA は全く異なる制度ですが、税制上優遇されている国が推し進める制度だとわかりました。参加した組合員からは、「初めて講座に参加しました。NISA を利用していますが、とても参考になりました」「学習会の中でライフプラン講座が一番好きなので、何度も参加しています。生活にとっても役に立ち感謝している」など、企画してよかったと思う感想がありました。

いしかり支部では「生産者に会おう」と、秋に三連続で生産者交流会を開催し、生活クラブの良さを多くの組合員が体感しました。今後も食にかぎらず様々な視点の企画も行い、「入っていて良かった生活クラブ」を実感してもらえ活動をしていきます。

(担当理事 山崎 栄子)



講師の藤井智子さん



6人が参加〈11/25 花川南コミュニティセンター〉

2024 年度
Vol. 2

生活クラブ福祉基金 助成先団体紹介



ドライフラワーを使って
リース作り

「生活クラブ福祉基金」は意志ある組合員の毎月 100 円の拠出で、生活クラブがすすめる福祉事業・活動に使われています。また、地域で福祉活動を広げている団体に助成しています。2024 年度に助成した 13 団体から、今月は 2 団体を紹介します。

ほっとできる場所に

フリースクール

「自由学習空間 ひとのわの会」

代表 福田 里末さん

「学校に行きたくない、行きたくないけど行けないなど様々な理由で休みがちな子どもたちにとって、自宅以外の場所で家族以外の人とつながれる環境は社会性を育むための大切な接点になり、不安や焦りなど心の負担を和らげてくれます」と、福田さん。ご自身も人間関係の悩みから不登校の経験をもち、高卒認定取得後に大学へ進学し、塾講師などを経て 2023 年 4 月にひとのわの会を開校しました。同世代の子ども同士の触れ合い場を作ることが目的です。毎週月・水・金曜日の午前中は各々が自主学習をしますが、たまにゲームやおしゃべりなどしながら過ごすことも。午後は、ボランティア講師の下でネイルアートやものづくり教室、スポーツ



タイルカーペットを購入できて
大変助かりました

など様々なワークショップを行い、自分の「得意」を見つけてくれるための自由活動の時間です。子どもたちもこの時間をとても楽しみにしていて、積極的に参加しています。開校当初は小学 4 年生から中学 3 年生までが対象でしたが、予想以上に生徒数が増えて施設が手狭になり移転。現在は、小学生から高校生まで 35 人が在籍しています。

ひとのわの会は、恵庭市において初めて民間が運営する教育機関です。今まで無償ボランティアに支えられて運営してきましたが、継続やスタッフの人員費を賄う事を考えると事業収益が必要だと判断して昨年の 12 月に法人格を申請し、1 月に認証予定です。今後は、子どもたちの主体性を尊重しながらいつまでも居たいと思える居場所となるよう、行政や地域とも連携を取りながらしっかりサポートしていききたいと力強く語ってくれました。（聞き手／川瀬）

理解してくれる支援者を増やしていきたい

一般社団法人 WHO CARES（フューアーズ）

代表 小川 遼さん

住居を失った生活困窮者のためのシェルターは元々相部屋でしたが、コロナ禍で個人利用となり、部屋数が足りなくなりました。そこで、市に予算の申し入れを行い、北 18 条にあるゲストハウスの方と一緒にシェルターの運営を始めることができました。残念ながら予算が続かず半年ほどで終わりましたが、活動していた仲間 7 人と非営利事業を独立させ、2023 年 3 月に法人化しました。主な活動は、シェルター事業や炊き出しイベントなどです。昨年 12 月には、地域の人が集える貸し棚の私設図書館がある、新拠点をオープンしました。



本棚には社会保障関連の
書籍が並ぶ

生活困窮者は親族との関係が薄く、雇用も不安定で職場も転々としがちです。住居確保のために必要な緊急連絡先を引き受けてくれる友人もいません。



炊き出し「大きな食卓」。温かい食事と食料の配布や、ヘアカットも

私個人は自立支援の相談機関で働き、30 人以上の緊急連絡先になっっていますが、体調不良で救急搬送しても何人もの方が亡くなられました。早く異変に気付けたら助かる人もいます。そうした状況をうけて、地域まもり緊急連絡先事業を始めました。

助成金では「生活困窮者の孤立防止のため地域での交流を推進する事業」として、炊き出しを 2 回行いました。2 月には演劇イベントも予定しています。生活保護制度で生活できるということもそれは経済的なこと。それだけで生きていくのは難しいんです。今後は公的制度にはまらない人たちも助けられるように、寄付金で活動を維持できればと考えています。多くの人にこの事業を知ってもらい支援者を増やしていきたいです。寄付を募っています。

（聞き手／福井）

information



新春クイズの応募方法

正解者の中から5名に消費材福袋をプレゼント！
クイズの答えと当選者はチュブ2月号で発表します。

- 【応募方法】
- ① クロスワードクイズの答え
 - ② 支部名
 - ③ 班コード or 戸配コースコード
 - ④ 組合員氏名
 - ⑤ 電話番号
 - ⑥ 本誌への意見や感想

オススメ消費材が
つまっています！



①～⑥までを記入し、FAX・メールまたは配達時に
渡してご応募ください。

【宛 先】生活クラブ本部 広報委員会 川瀬まで
FAX (011) 887-7229
E-MAIL yasu@club.s-coop.or.jp

【締め切り】2月1日(土) 必着



Instagram・Facebook もご覧ください！

ホームページからも
アクセスできるよ



本ページに記載しているイベント等については、生活
クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

※ 12月号P4 江別支部の文章1行目、正しくはオシキリ食品(株)です。
訂正してお詫びいたします。

脱サラして木こりになった！

森の助っ人「森田さん」とのお楽しみ交流会♪

日 時 2月15日(土) 10:00～13:00

場 所 生活クラブ本部

参加費 500円 + 小物作りの材料費

内 容 毎月フィービラの森に来ていただいている「積丹
グリーン」の森田信道さんから、自身の経歴や体
験談、簡単な木工クラフトを教えてください。
フィービラの森の現状や活動報告、森で収穫した
ヤーコンや牛乳を使った料理の試食もあります。

ニュース

1月3週

主催 森づくりプロジェクト



よろず

介護相談会

2月5日(水) / 3月28日(金)

10:00～15:00

家族の介護やご自身のことで、心配や不安は
ありませんか？ 経験豊富なケアマネジャーが
お待ちしています。お気軽にどうぞ。

メール



生活クラブ ケアプランセンター

札幌市豊平区月寒東3条4丁目1-3

生活クラブ館・とよひら 3階

メール・電話相談は
いつでも可能

☎ 011(850) 1088

お悔やみ

生活クラブ創設者である岩根邦雄さん(享年92)が
12月6日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
いたします。



目覚めるとき

岩見沢支部 菊合 美寛

組合員歴も7年となり、日々消費材で食
卓を豊かにしてもらっています。加入当
初、全幅の信頼を置いて安心安全なもの
を選べることに感動していました。加入前は
原材料や生産地を店頭で一つひとつ確認
しながら買っていました。生活クラブの
厳しい安全基準と徹底した生産管理のお
かげでその手間から解放されました。食品
表示法の改正、農薬やゲノム編集食品な
ど食を取り巻く問題がたくさんあるなか、
安心して消費材を選ぶことに感謝の気
持ちでいっぱいです。

しかしその環境も、黙っていたら脅かさ
れてしまつたのではという危機感を持ってい
ます。過剰に手加わった食品であふれ、
私たちの欲しいものが手に入らない一般の
店舗。与えられた環境に甘んじていては、
それらにどんどん浸食されていくように感
じるのです。一人ひとりが賢い目を持ち、
行動せざるを得ない状況になっていると思
います。

組合員のエッセイを募集します。400字程度。テーマ
の指定はありません。本部 川瀬まで、ファックスか業
務便で送ってください。



道産 道産間伐材を配合した紙を使用しています